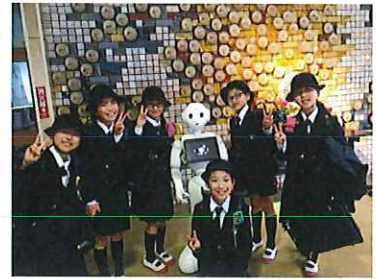


2017 小学部だより

ねむの木

相模女子大学小学部
〒252-0383 相模原市南区文京 2-1-1

2017年度 5月号



小学生で習う動物漢字

校長 竹下 昌之

皆さんのなかには、漢字を覚えることが苦手な人はいませんか？

わたしは昔、ある先生から「漢字は目で覚えるもの！」とあって、まず最初は、ふりがなをふってもいいから文章のなかに出てくる漢字を読めるようにして、そのうち、何度も何度も読んでいくうちにその漢字の意味や形を覚え、最後に正確に書くようになれる」と教わりました。

今、小学校の国語の教科書にはどのくらいの数の漢字が出てくるか知っていますか？

実は、1年生→80字 2年生→160字 3年生→200字 4年生→200字
5年生→185字 6年生→181字 全部で1006字の漢字を覚えなくてはなりません。しかし、数千年の歴史の中から、うまれた漢字の数はなんと9万字以上といわれています。それに比べると少ないものです。

ところで、現在日本全国で使われている2年生の国語教科書では、動物をあらわす漢字として、「牛」・「馬」・「魚」・「鳥」という4つの字が出てきます。では、1年生では、どんな動物の漢字がいくつか出てくるのでしょうか。

それは、「人」・「犬」・「虫」のたった3つです。2年生の時に「牛」なんて簡単な字を習うのに「虫」なんてずいぶん画数の多いややこしい字を習うなんて不思議ですね。そこである時、文部科学省の人に聞いてみましたら、それは、「皆さんにとってできるだけ身近な生き物から覚えていってもらいたい」という考えからだそうです。ちなみに、参考までに、その他の学年で習う動物をあらわす漢字は、3年生→「羊」4年生→「象」6年生→「蚕」の3つです。つまり、小学校で動物をあらわす漢字は10個しか出てきません。

したがって、今、小学生で10個以上の動物をあらわす漢字を読み書きできるという人は、すばらしい漢字能力を持った人というわけです。これから先、漢字を深く勉強していくととてもおもしろいことがたくさんわかります。最初から「めんどくさい！」などと思わないで、「好きになる努力」をしてください。

なお、2030（平成32）年度から使われる国語教科書から4年生以上の学年別配当漢字数が変わります。それは、4年生で都道府県名に使われる漢字20字（「茨」・「媛」・「岡」・「潟」・「岐」・「熊」・「香」・「佐」・「埼」・「崎」・「滋」・「鹿」・「縄」・「井」・「沖」・「栃」・「奈」・「梨」・「阪」・「阜」）が新たに加わり、今まで4年生に配当されていた23字が他の学年に移り、5年生に配当されていた「賀」・「群」・「徳」・「富」と6年生に配当されていた「城」が4年生に配当され、結果として4年生現行200字が202字に増える結果となります。また、そのため、動物漢字「象」が5年生に移りました。

※5年生：185→193字 6年生：181→191字 全部で1006→1026字

小学部の皆さん、昨年度に引き続き9年連続「漢字検定団体優秀校」の表彰受賞をめざして、がんばっていきましょう！